

オンライン

# 教育シンポジウム in 東京 2022

(第26回)

コロナ禍の中、子どもたちの学びを保証しようと尽力される先生方に、心より敬意を表します。

さて、前回 2021 年 3 月に開催したシンポジウムでは『令和の日本型学校教育』は何を目指すのか」と題して、中央教育審議会答申のキーワードとなる「個別最適な学び」と「協働的な学び」についての考察を行いました。「個別最適な学び」と、「協働的な学び」について、それぞれの学びを一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが、「令和の日本型学校教育」の姿として示されました。

今回のシンポジウムでは、「今こそ『深い学び』を問い直す」を主テーマとして、昨年と同様にオンラインで開催いたします。教育行政・教育研究・学校現場、それぞれの立場の講師による最新情報や実践事例を交えながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指していく上で、「深い学び」について改めて考えていきます。

ご参加を心よりお待ちしております。

## プログラム

### 今こそ「深い学び」を問い直す

～その趣旨と実践例から～

開催方法 オンデマンドによる動画配信

配信期間 3月14日(月)12:00～3月31日(木)20:00(配信終了)

参加費 1,500円(税込)

・お支払いについては、クレジットカード、コンビニ払いをご利用いただけます。詳しくは本研究所ホームページにご案内がございますのでご確認ください。お申込み及びお支払いについては、お申込み手続き委託会社のサイトからのみとなります。

※お支払い後はご返金できませんので、予めご了承ください。

・お支払い完了後、お申込み時にご登録いただいたメールアドレスに視聴サイトの URL が送られてきます。  
配信期間内であれば、何度でも視聴ができます。

お申込み期間 2月7日(月)10:00～3月27日(日)20:00

この日時以前はお申込みできませんのでお気を付けてください。

お申込みのご案内



←お申込みは当研究所のホームページからアクセスをしてください。

※お申込み手続き委託先：イベントレジスト株式会社 <https://eventregist.jp/company/>

主催





公益財団法人 **中央教育研究所** (TEL: 03-5390-7488 FAX: 03-5390-7489)

後援

東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、茨城県教育委員会、群馬県教育委員会、  
埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、栃木県教育委員会、長野県教育委員会、  
新潟県教育委員会、山梨県教育委員会  
株式会社 時事通信社、東京教育研究所、株式会社 学習調査エデュフロント

# 今こそ「深い学び」を問い直す

～その趣旨と実践例から～

<p>開会挨拶</p>	<p>公益財団法人 中央教育研究所 所長 伊藤 育夫</p>
<p>基調講演 (30分)</p>	<p><b>「深い学び」の背景と学校教育での展開</b></p> <p>市川 伸一 先生 (東京大学名誉教授、帝京大学中学校・高等学校校長補佐)</p> <p>1953年生まれ。東京大学文学部卒業。文学博士。埼玉大学、東京工業大学、東京大学を経て、2019年3月定年退職し、現在、東京大学名誉教授、帝京大学中学校・高等学校校長補佐。2001年より、中央教育審議会教育課程部会委員として学習指導要領の改訂に関わる。専門は教育心理学。研究テーマは、認知心理学を基盤にした教育のあり方。学校や地域における個別学習支援、「教えて考えさせる授業」に基づく授業づくり、「学びのポイントラリー」による地域教育の活性化、などの教育実践活動に携わっている。</p> <p>著書に『考えることの科学—推論の認知心理学への招待』（中公新書）、『学ぶ意欲の心理学』（PHP新書）、『学力低下論争』（ちくま新書）、『勉強法が変わる本—心理学からのアドバイス』（岩波ジュニア新書）、『「教えて考えさせる授業」を創る アドバンス編』（図書文化社）、『勉強法の科学—心理学から学習を探る』（岩波書店）など。</p> 
<p>基調講演 (30分)</p>	<p><b>新教育課程の目指す資質・能力と「深い学び」</b></p> <p>石田 有記 先生 (文部科学省 初等中等教育局 教育課程課教育課程企画室長)</p> <p>平成 11 年に文部省 (現：文部科学省) 入省。係長 (教職員課、教育課程課、財務課、特別支援教育課)、千葉県市川市教育委員会教育次長、教育課程課教育課程企画室専門官、同課学校教育官等を経て現職。小学校学習指導要領 (H29 告示) 解説総則編、中学校学習指導要領 (H29 告示) 解説総則編等の作成に携わる。</p> 
<p>基調講演 (30分)</p>	<p><b>習得～探究における「深い学び」に向けたカリキュラム編成</b></p> <p>玉野 麻衣 先生 (大田区立調布大塚小学校校長)</p> <p>東京都立特別支援学校、東京都公立小学校教員、東京都教育庁指導部、稲城市教育委員会教育部、東京都教職員研修センター研修部指導主事、東京都公立小学校副校長、文京区教育委員会教育センター統括指導主事、世田谷区立奥沢小学校校長を経て 2021 年 4 月から現職。</p> <p>現在、全日本音楽教育研究会小学校部会事務局長、東京都小学校音楽教育研究会、全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会、東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会副会長を務める。</p> 
<p>&lt;トークセッション&gt; (90分)</p>	<p><b>今こそ「深い学び」を問い直す ～その趣旨と実践例から～</b></p> <p>コーディネーター 市川 伸一 先生</p> <p>ゲストコメンテーター 松下 佳代 先生</p> <p>パネラー 石田 有記 先生、玉野 麻衣 先生</p> <p>松下 佳代 先生 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)</p> <p>福岡県出身。博士 (教育学)。京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授、京都大学高等教育教授システム開発センター助教授を経て、2004 年より現職。</p> <p>現在、日本カリキュラム学会代表理事、大学教育学会副会長、日本学術会議会員等を務める。専門は、教育方法学、大学教育学。特に能力、学習、評価をテーマに研究と実践を行っている。主な著書に『対話型論証による学びのデザイナー—学校で身につけてほしいたった一つのこと』（勤草書房、2021）、「アクティブラーニングの評価」（編著、東信堂）、「ディープ・アクティブラーニング」（編著、勤草書房、2015）など。</p> 

※時間については予定